

科目	地域医療学	担当	北野 達也	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

国民が医療を受ける際、居住地域における受療ニーズが高い。ゆえに地域医療の特性、地域格差など事例を通して学ぶとともに、地域保健医療圏などの調査・分析手法を習得する必要がある。また、国民の健康増進、急性期医療、災害医療、さらに特定機能病院、地域医療支援病院、三次救命救急センターなどの役割分担を踏まえ、機能性を視野に入れた地域医療改革が必要である。ここでは、地域住民を中心とし、地域医療に関わる問題を理解したうえで、地域における医療の質を改善させることを目標とする。

**【履修注意】**

携帯電話電源切又はマナーモード、飲食禁、講義中入退室禁、10回以上出席を条件とする。  
※「地域医療学」は医療マネジメントコース推奨科目である。

**【評価方法】**

①期末テストによる評価:60%、②授業参加(積極的な授業参加、討論、発言、出席状況、レポートなど):40%

**【試験について】**

筆記試験を行う。

再試験対象者の条件:総合(期末テスト及び授業参加・レポート等)による評価が60点未満の学生  
※但し、総合による評価が40点未満の学生は不合格とし、再試験を実施しない。

**【予習・復習】**

各回授業内容に応じ、授業前予習(専門用語、関連文献等の検索)、授業後の復習として、学習内容についてまとめ、国内外関連文献検索等によりさらに知識を深めること。※1コマ当たり90分を目安に予習・復習を行うこと。

**【教科書】**

購入教科書なし

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	Introduction	地域医療学とは? 受療ニーズ、地域住民、地域特性
2	医療構造改革と地域医療の現状	医療構造改革、医療の貧困化、住民への影響、地域医療の現状
3	地域医療の歴史	歴史的背景:保健所法、国民健康保険、国民皆保険、農村医療
4	海外における医療事情	海外における地域医療について:NZPH、地区保健マネジメント
5	日本における現状	日本における地域医療について:過疎地、離島、地域格差
6	地域医療格差	地域医療崩壊の事例:人口減少、医師偏在、診療報酬制度
7	地方自治体の役割	自治体病院運営、地域保健行政、ヘルスプロモーション、NPH
8	中間まとめ	1~7のまとめ(レポート)
9	特定健診・保健指導	特定健診・保健指導義務化の経緯及び現状、健康増進普及活動
10	環境と健康問題	地域特性、国民の動向、環境保健、公害対策、環境基本法
11	地域医療政策Ⅰ	地域医療政策、地域健康増進活動、ERM導入とSRIシステム構築
12	地域医療政策Ⅱ	地域医療と医療教育のあり方、住民力を高めるための方策提案
13	在宅医療について	キュアからケアへ、今後の在宅医療のあり方、地域コミュニティ
14	救急医療について	地域急性期医療、ドクター・ヘリ配備、三次救命、トリアージ
15	災害医療について	地域災害医療、DMAT、防災ボランティアコーディネーターの役割
16	期末試験	15コマの復習・確認・まとめ